

広報よこしば ⑧

堂々の2連覇

—第21回 山武郡市駅伝競争大会—



山武杉の間を風のように...

第21回山武郡市駅伝競争大会が2月11日(月)、山武町で開かれました。初めての会場となった山武町のコースは、山武杉の林を通り、山あり坂ありの起伏に

富んだコース。

選手のみなさんはスタート前に先輩や友達と念入りに作戦を練ったりして元気よくスタート。小学生から中学生・高校一般男子まで12区間、32・8キロメートルを9市町村が参加し、1チーム13人ずつの百十七人で競いました。昨年に続き2連覇をねらっているのが横芝町は、慣れない坂道もなんのその、2位の東金市に22秒、約百メートルの差をつけてゴールイン。区間賞も5人と大奮闘し、応援にかけつけた家族をはじめ、選手役員のみなさんから



2連覇をなしとげた横芝チームの面々

盛んな拍手がおくられていました。役員の江波戸きくさんは、「子どもたちに付き添っています。情がうつり、わが子も同じです。」と感慨無量の様子。また、宇野克彰町体育協会会長は、「冷や汗をかくことなく、堂々たる2連覇に喜んでいきます。」と選手のみなさんの健闘をたたえていました。

すばらしい演技を披露

2月10日(日)、町文化会館で公民館クラブ連絡協議会の演芸発表会が開催され、クラブ員300名はすばらしい演技を披露していました。



発表のよこび めしめしと

—小学校対抗駅伝大会—

総武中央ライオンズクラブ主催



チームワークが光っていました

6年生の部

横小Aが頂点

「6年生は最後のチャンスなんだから悔いのないよう頑張れよ!」

これは2月3日連沼ウォーターガーデンで行われた第7回小学校駅伝大会での先生の言葉。

子どもたちはこの言葉に込めるかのようにストライドを延ばし、チームワークのとれたタスキリレーを繰り広げました。そして、6年生の部で横芝小学校Aチームがみごと優勝旗を射止めました。